昭和二十一年十一月廿九日　夕刊　いわき民報　（金曜日）　第百八十六號

いわき民報
いわき民報社
（第三種郵便物認可）
已克諾平　人刷印兼
毎日午後一時刊行
（毎月一日・五日・十日・十五日・二十日・二十五日）
定價一部十五錢

殆んど總崩れの舊態營

追放旋風遂に各業界に及ぶ

公職追放旋風は經濟界、言論界政黨にもひろがり、民主化への齒車が急速度に轉回されつゝあるが、さらに旋風は農業、蠶糸水産漁業、商工、林業、醫師、齒科、藥劑、看護士界にも波及郡下町村に新たなセンセーションを捲き起してゐる、これに觸れるものは林業會關係では縣木地木から發展改組された木材生産組合連合會理事佐藤三平氏（内郷）をはじめ森林組合連合會理事赤津庄兵衛氏（勿來）、縣醫師會理事酒井保氏（平）、齒科醫師會長萩原義雄氏（平）、同理事西蓮寺勇氏（好間）、藥劑師會理事足立理義氏（内郷）等が主となつてゐる、農業會關係では町村單位農業會の會長、專務理事から一般理事にまで及ぶとすれば各町村に十名前後と見て郡下で三百名前後が對象となり、町村長、助役、收入役をはじめ各界の追放者を加えればその數四百名に達するのではあるまいかともみられてゐる

追放さるゝ 收入役陣

大体左の四氏が追放旋風は町村收入役にまで波及、郡下での該當者は左の四氏とみられてゐる

川部村國部邪美　錦町山野邊良助、飯野村水山篤平、鹿島村三島五一郎四氏

農村關係の諸問題を

町村長等を召集

去十九日も續行

地方事務所では二十八日各町村長、農業會長、獄業主任を召集平第三校で十時から左の事項を協議したが廿九日續行する

一、昭和二十一年産米の政府買入保進について（昭和二十一年産米の價格、白米供出、産米の未整理　三、食糧增産（麥の增産、種子確保、肥料）四、農地委員選擧　五、金融機關再建整備法　六、畜産增産　七、其の他

尚二十九日畜産增産について特に畜産五ヶ年計劃及び飼料の生産者登録制實施、自給飼料增産家畜縣外移出等について協議する

磐城高女も五年制へ

昨日保護者會で增築その他協議

磐城高等女學校の五年制度實現は愈々本格的となり二十七日午前十時から同校に保護者會評議委員が開かれ校舍の增築並びに教員組合に對する保護者の立場について協議された、校舍の增築問題としては總額三十二万圓の中縣補助は僅か八万圓なので殘り二十四万圓は地元市町村に呼びかけて廣く寄附を募る事としとり敢えず現在の寄宿舍を改造する事になつた、教員組合に對しては最惡の場合に至つても教壇を離れられては生徒の教育に影響するので極力最惡の場合を防止するため側面的に全面的協力をなすことを決議した

市聯合青年會成る

來月五日公會堂で結成式

市聯合青年會の結成準備懇談會は二十七日午後一時から市公會堂日本間に開かれた、參會者は城東文化會をはじめ二丁目江久會、田町、一丁目、北白銀、久保町の各青年會代表五十數名で市から長谷川教務課長が出席して種々懇談した、城東文化會ほか四青年會代表が發起人となり各區青年部に勵起を促すとともに來月五日午後一時から市公會堂に結成式を發ねて總會を開き地方選擧をまえに新發足することになつた

小名濱臨鐵の臨時株主總會

小名濱臨港鐵道では二十八日午後一時から取締役缺員二名の補充その他について臨時株主總會を開いた

雜穀甘藷の代替供出、水增割當、農家保有米の消費指導、檢査計畫）二、昭和二十一年

薪炭供出 主食特配の基準決定

今月中に實構築者にも

冬將軍をまえに少しでも多くの木炭を――と郡では既報の如く各關係團体を動員して夏山嬰産の撥回を冬山でとりかえそうと督勵行脚を續けているが、增炭の隘路となつてゐた食糧不足に鑑み當局の親心で十一月十日から明春三月末日まで薪炭を供出したものおよび今明月中に炭窯を構築したものには次の要領で主食の特配が決定、山元に歡歌があがつた

▼供出木炭一俵につき二四〇グラム（米換算約一、七合）

▼普通薪一本五束につき二四〇グラム（但し自家保有米を有するものは一四〇グラム）

▼ガス薪十俵（三〇〇キロ）につき二一〇グラム（約一、五合）▼煉瓦炭（四〇〇キロ）につき一四〇グラム（約一合）

▼タドン二十袋（三〇〇キロ）につき一四〇グラム

▼築窯（一基につき）奥行八尺未滿五、七〇〇グラム（約四升）▼同八尺以上十二尺未滿八、五〇〇グラム（約六升）

▼同十二尺以上一〇、〇〇〇グラム（約七升）

湯本町遺族會 授産場開場

湯本町遺族會では二十五日から愈々授産場を開場大々的に婦人子供服、洋裁部等の修理加工を始めミシンの音も勇しく若い未亡人の職場が出來た、遺族會々長の大橋氏は語る

遺族の方ばかりでなく生活に困つてゐる人は一般の人でも來て手職を覺えてもらひたいと思ひます、尚來月初旬からは職業補導部も設けて生計のたつように努めたいと計畫中です

樂團不死鳥

甘九日公會堂に

二十日菊屋樂器店主配電會社の根本君達十二名の青年は音樂の昂揚を期し樂團不死鳥を組織、各青年會並に一般同好の士を募ることになり、先づ二十九日午后六時から公會堂日本間に花柳舞踊團後援の下に初の無料演奏會を開く

寄附割當七十三萬圓

市に花柳病病院建設に決定

平和日本の再建は花柳病の撲滅からと縣内四市に花柳病病院が設置される事になり、建設母体たる平保健所に七十三萬圓寄附割當があつたので同所では廿九日午前十時から平署に發起人會を開き、病院建設期成後援會石城支部を結成、各方面に呼びかけて年度内に寄附募集を完成目的達成に入り出す事になつた、發起人は左の通り

平保健所長青沼淡夫、石城地方事務所長渡邊治、平署大竹喜代治、植田署長吉田照映、平勤務署長他口正、郡町村長會長命成淺治、平市長伊藤秀吉縣齒科醫師會長萩原義雄、醫師會石城支部長大森勇

遭難船四隻

水夫一名激浪に呑まれ行方不明

農作物其他には被害なし

昨夜の暴風雨

郡下一帶二十七日の雨は午后六時過ぎから暴風雨化し荒れ廻つて夜半に至りおさまつたが時節のため農村時節が時節のため農村方面その他には別段の被害はなかつたが、各海岸地帶では漁船等の破損をみたものがあつた、平署に報告された主なる漁船被害は左の通り船体は無事、二十八日朝來引下し作業中

▼茨城縣平潟町阿部五作氏所有底曳漁船三十噸（船長佐藤五郎以下十一名乘組）は二十七日夜歸港の途中遭難、高久村海岸に打ち上げられたが、船体を小破したのみで乘組員は無事

▼北海道室蘭から廣島に向け歸航途中の汽船三隻は同夜十時頃打揃つて小名濱港へ辛くも避難したが、岸壁に吹き當られ船体を破損、乘組員中朝鮮生れの水夫一名が行方不明となつたので、小名濱水難救濟會では目下救助船を出し死体捜査中

選炭婦の死

暴風雨で好間川に吹き落されて

好間村北好間小田炭礦選炭婦石井はるみさん（二〇）は二十七日夜十時頃友人齊藤せつさんと歸宅の途中折柄の暴風雨に好間川に吹き落され行方不明となつた

いわき寸言

▼公職追放旋風はいよ〳〵荒れて、各業界にも及び農業會理事級にまで吹く、これがため舊陣營は殆んど總崩れとなるものと

學生も
御婦人も
安易に
御會合の出來る
マルヒ食堂
電話一二三番

◇御婚禮披露式
其他御會合に御利用を

賣地
平材木町地内
宅地二百余坪
（バラック建家付）
◇御希望の方は
電話七〇番へ
但し仲介はお斷り

戰災建築用資材
石材・ベニヤ板・其他一般資材
御相談に應じます
平土地住宅會社　建材部
本築
土建　請賀
平市田町5（電話202・971番）

工員募集
配管工　一名
鍛冶工　一名
製鹽工　一〇名
右急募す
希望者は履歴書持參
本人來談の事
日東紡績株式會社
四倉工場
石城郡四倉町
電話一六九番

開館御禮
當劇場開館に際しましては、皆々様の御支援を賜り厚く御禮申上げます、尚初興行初日には列車ダイヤ混亂の爲、多大の御迷惑をおかけいたしまして劇場關係者を代表して深く御詫び申上げますとともに今後とも御支援の程を切にお願ひいたします
毎日晝夜二回開演いたしておりますから御來場を賜れんことを幾重にも御願ひ申上げます
昭和二十一年十一月二十八日
民衆劇場（電話九二〇番）
代表者　佐藤常雄

郡下の供米狀況を見る

軌道に乘るのは來月からか

郡下各地の供米は順調に進んでいるが、早場米の方は好成績だつたのに本供出に入つてから進捗が鈍つている町村も多少はある、米の調整の遲延、報奬物資配給の不圓滑などが原因とみられているが、供米の本軌道に乘るのは來月初旬からである郡下の供米現況は……

川前村に續く三町村

未供出は四倉外十二ケ町村

一時停滯をみた郡下の供米は再び回復二十六日現在で割當十四万七千二十五俵に對して三千五百三十五俵に達した、うち川前村が見事完遂、澤渡、勿來、鹿島の各町村ともしのぎを削つて各部落に供米戰を展開してゐる未供出町村は四倉町ほか十二ケ町村で目下の成績は左の如くとなつてゐる

泉村二四六俵、渡邊村三九七俵、植田村一六六俵、山田村三八俵、錦町二八一俵、勿來町三八〇俵、上遠野村一五俵、川部村三三俵、飯野村一五俵、高久村六一俵、鹿島村四七一俵、小名浜一三三俵、湯本町一二四俵、永戸鉄輪村二〇俵、錦渡三四村四九七俵、神谷村二七俵、草野村二二九俵、小川村五俵、川前村三七八俵、計三千五百三十五俵

割當の僅か半分

郡下の木炭生産供出狀況

冬將軍をまへに地方事務所林産課では郡下各所に增炭協議會を開き拍車をかけてゐるが、二十日迄に報告された增炭成績は割當一萬五千五百余俵に對して僅か七千六百余俵に過ぎず當局の緊急對策なき限り今冬は寒い想ひをせねばならなくなつた

ルート以上は お斷り

薪炭輸送に全力を

二十五日から展開の防犯週間に呼應して平署では二十六日管內輸送業者の參集をもとめて同署會議室にこれが懇談會を開いた新炭燃料危機突破の見地から全ルート以上は非ざる諸物資の輸送を行はぬ旨申し合せた

表彰に輝く 有賀巡査

勤續二十九年間 特賞授與四十回

平署では川前村駐在巡査有賀平吉氏を優良警察官として縣に表彰つてなき猛戰命が出現の狀態にあり各方面から注目視されて彰方上申した

◆京染部新設◆
新柄見本取揃へました更生染色加工の御用命願ひます
機械完備　京屋染工場
平市南町大通り

有賀巡査は勤續二十九年に及びこの間特賞四十余回を授與されてゐる模範警官で木炭及び米の橫流しをはじめ今年度供米に盡力した功は大きい

救國貯蓄運動

各町村へ飛檄

郡では來月三十一日まで展開の農地委員の選擧はいよ〳〵來月八日で名簿を確定し十五日行ふことに決定した、この選擧は各町村一律に小作人から五名、地主から三名、自作農から二名の議員を選出して民主農村の建設を期すことになつたが、目下のところ各町村とも立候補者は倍數の二十名近くと見られて居り

立候補は倍以上か

激戰豫想の農地委員選擧

救國貯蓄運動に呼應して各町村に機に飛ばしてゐる、同運動は官廳中心を離れて民主的な方法による強力な運動で新日本經濟建設を目指して目標突破に全郡民の協力をもとめる

眼鏡
專門
各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目
電話新設九一〇番

視力試驗設備が有ります
進む文化に守る視力

開放

警察當局へ

▼……終戰後の治安維持に警察官が、なみ〳〵ならぬ苦勞をしてゐられることに對しては衷心より感謝を捧げるものである、然しこゝに於いて警察官にも今少し考へて貰ひたいこともある

▼……過日文町の一例を先づあげてみる、或る農家で幾何かの衣類が紛失したので署に屆出たところがその紛失した衣類に似た服裝であるからと署は一青年を連行した

▼……その青年は實際何も知らぬものであつたにも拘らずその日一日留置され、翌日釋放されたがそれからも三日も四日も翌日出されて取調べを受けた、それがためその青年は遂に身休を害してしまつた

▼……況してその青年は一家の大黑柱で親や弟姉を養つてゐるのである、その働き人がこんな事件のため三日も四日も仕事が出來なかつた時、その家庭の生活がどうなるかは想像が出來るそしてかゝる場合には十分なる證據を摑んでやつて欲しい

▼……當つて碎けろ的態度は嚴に愼んで貰ひたいと思ふ、警察の民衆化もこゝらにあるのではあるまいか又數の警察官中には今日なほ舊態依然たるものがあるのはもの怪しい

▼……時代は刻々と進んでゐるのである、戰時中や或は岡つ引當時の心構えでは今日は許されぬのである、これらの諸点を最少し警察當局に再考して貰ひたいと希望する

（大浦村下仁井田齊雄生）

▼……二十六日ひるさがり平署輸送課に一青年が泣き込んだ

▼……災難とあきらめるより仕方ないにしろ、青年が心に受けた打撃や一家の苦しんだ惱みはあるまいか又數の警察官中には今日なほ舊態依然たるものがあるのはもの怪しい

▼……時代は刻々と進んでゐるのである、戰時中や或は岡つ引當時の心構えでは今日は許されぬのである、これらの諸点を最少し警察當局に再考して貰ひたいと希望する

（大浦村下仁井田齊雄生）

大道異變

平　中　青　二

▼主食の闇は嚴重に取締り、勞働者といへども斷乎送局する御方針の由。至極同感

▼勸善懲惡といふ言葉は古臭いが、政治教育上、不滅の眞理、永遠の生命を有する天下の大道

▼闇の寶寶のためにシコタマ儲けた者も居るが、損と得とは紙の裏と表のやうなもので、如何に多くの者が闇のために泣かされたか知れない

▼もう闇はいやだ。早く夜明けが近づかねばローソクはなし。電燈のゼネストはやられるし、とに角、叫ばん

▼然し、一合八勺配給の時でも時々斷乎『買出しは相成らぬ』と停車場あたりで取り上げられた者もあつたといふ風の便り

▼闇のブロカーは斷々乎として八勺で生きよ』といふことは『死ぬ』といふ命令だから、一寸お手軟かに願ひ度い。殊に一合八勺も遲配、欠配、代替と來る

▼闇のブタ箱に入れることだが『一合

▼闇のブロカーにも色あります。米を買つつけて欲しい。然し、畠もなし、中間もなし、暇もなし、中間ばかりにやるもの、米を買つつけて欲しい。然し、畠もなし、中間もなし、暇もなし、中間ばかりにやるもの——これは斷乎として

▼『所謂闇ブロカーにも色あります。』

▼と言ふやうなことを話したら

▼神の革命は一朝一夕には出來ぬ

▼さすれば面倒でも一人々々の生活內容を檢討して、惡質なのは送局もやむを得ずといふことになるか。況んや二合五勺の配給になつた今日に於ては——

▼但し『魚の罐詰を米の代替とすることはインチキで、無理と言ふもの。無理をすると病氣になることは天下の大道。異變のくれますか』といふ

▼私も腕を組んで唸らざるを得なかつた。結局、道德心や宗教心の涵養、そしてみんなが職場々々に全精神をブチ込んで增產にいそしむ以外に手はない。精

から、一般大衆は死刑の宣告と思ふ

▼と言ふやうなことを話したら

▼『所謂闇ブロカーにも色あります。』

▼神の革命は一朝一夕には出來ぬ

▼さすれば面倒でも一人々々の生活內容を檢討して、惡質なのは送局もやむを得ずといふことになるか。況んや二合五勺の配給になつた今日に於ては——

▼但し『魚の罐詰を米の代替とすることはインチキで、無理と言ふもの。無理をすると病氣になることは天下の大道。異變のくれますか』といふ

▼私も腕を組んで唸らざるを得なかつた。結局、道德心や宗教

人命救助で

流石は指導者

平署では磐崎村大字上湯長谷字柱補手山本三善君(二三)の表彰方を縣に上申した

去る廿四日同村長倉地內溜池で溺死せんとする同村古川吉男ちゃん(四)を發見、着のみ着のまゝで飛び込んで救助したもの

湯本町農業會職員高木精一氏は自ら率先して湯本町供出米のトツを切りさすがは職務柏と賞されてゐる

華道展點描

渡邊何鳴

池坊流山見當社中の華道展にて冬の木瓜花はつはつに嚴しくかきつばた十三夜とふ陶壺にて

俳句會

田邊製作所

栗山子

高橋一二三

かり終へしたんぼの中や栗山子
立つ

遠藤蹴山子

朝霧の晴れて見え來し栗山子かな

加藤愁星

霧籠れし鉄輪の里の栗山子かな

木田花堂

仕事着を栗山子に預け耕しぬ

高橋一二三

洗面器かむりて立ちし栗山子かな

木田花堂

傾きし栗山子に小雨降る山田

今野眞一

海見える坂に見下ろすかしかな

木田花堂

土瓶など栗山子のそばの畦に置く

伊藤一風

くれそむる町の灯遠く栗山子みぬ

吉田孤舟

やみもせず栗山子無帽に雨の中

吉田孤舟

雨けむる柿より破れしかゝし見ゆ

遠藤蹴山子

通路の夕なつかしき栗山子かな

今野眞一

前の田に浮ぶかゝしや月明り

栗

永井清巳

風さりて喜々として行く栗拾ひ

木田花堂

垣越しに隣の栗を取る子かな

猪狩豐洋

大空をかみつく如き丹波栗

加藤愁星

晴れわたる筑波の峯に熟る栗

栗拾ふて名知らぬ里に暮るゝかな

高橋一二三

栗拾ふ吾子の姿ほゝいめる

栗拾ふ童の唄や遠くきく

吉田孤舟

母の膝に余りに固き栗の皮

▼……話をよく〳〵聞いたら、きのお二人乘りをして某巡査に見つかりきついお目玉を頂戴したあげく自轉車の鑑札まで取り上げられたといふ

▼……鑑札がなくては乘ることが出來ないからなんとか返して貰ひ度い——と願ひ出たもの

▼……規則には鑑札をとり上げると云ふ法はないのだが……

▼……鑑札を取上げると云ふのはアラツ本當かしら？

御婚禮衣裳一式
御預品金融
衣類、洋服
誠實買受
ひのや
湯本町寶海（四坑入口）
お貸し致します

工員募集
一、四倉共榮土建
一、勿來築港工事
◇希望者は左記へ御來談を
平市月見町三〇
合作社共榮土建興業社